

# STAGE 2-2

## 箱崎工場(東部横冷)

新設 稼働中

### 竣工 DATA

竣工年月	1978(昭和53)年9月	
設計者	松本設計	
施工者	東急建設	
施設概要	敷地面積	5,040.00㎡
	延べ床面積	8,512.75㎡
	構造	RC造3階建
	プラットホーム	開放型低床式
	防熱方式	内防熱
収容能力	総トン数	11,217t
	F級	7,661t
	C級	1,207t
	C&F	2,349t
	凍結	16t/日
冷却設備	施工者	第一冷凍プラント
	冷凍機メーカー	長谷川鉄工
	主要冷凍機	高速多気筒冷凍機
	冷媒	R-22
その他設備	冷却方式	集中式・強制循環式・ユニットクーラー
		油圧間接式エレベーター3基



当時は「東部横冷」の看板が。

箱崎工場(1978(昭和53)年)



長谷川鉄工製冷凍機  
(液ポンプ方式&集中型冷凍機)

## 長谷川鉄工製冷凍機を初導入 今でも快調にフル回転!・・・タフだよなあ

**中川工場の次に出来た箱崎工場も冷凍機は分散型で自動化されていたんですか?**  
ところが、中川工場完成から半年後に稼働を始めたここは何故だか集中型なんだよね。この頃は、冷凍機の分散型、集中型のどちらを選ぶかに関しては、試行錯誤を繰り返していたんじゃないかな? 箱崎はチルド温度帯の野菜などの貨物もあってC級は小部屋対応だったんだよ。液ポンプ方式で冷却器はユニットクーラーだけど、凍結用冷凍機がF級用と兼用なので、凍結運転時にはF級と凍結庫との切り替え操作が必要

だから、工務担当者の技量が試される事業所だったんだよ。  
**え? 中川みたいに自動じゃないのですか? 旧来型に逆戻りですか?**  
集中型のメリットは大阪西淀工場のコラムにも書いているけど、1台の冷凍機が壊れても別の冷凍機でバックアップすることができるし、今のような自動ではないけれど、冷凍機の切替え以外ほぼ自動になっているよ。一概に逆戻りとは言えないんだよ。これも当時の試行錯誤の一つだよ。  
冷媒は当時夢の化学物質と言われたR-22を採用していたよね。ち

なみに長谷川鉄工製の冷凍機を初めて導入した事業所でもあったよね。VZ62Rが40年以上経過した今でもバリバリ現役で動いているよ。  
**え? すごいですね!**  
箱崎工場の敷地は縦長のためトラックパースが狭く、パレットやラックなどの資材を置くスペースが確保できませんでした。そのため屋上を資材置場にしておークリフト荷役が可能な設計にしました。  
構造架構は鉄筋コンクリート造間仕切耐震壁の床版フラットプレート工法で、また外壁は鉄筋コ

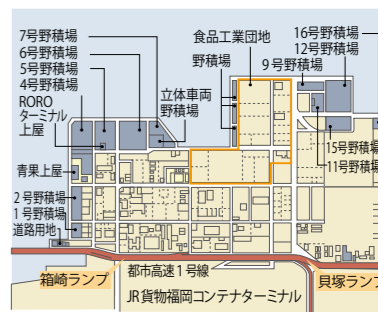
### 東部横冷発足の経緯

1972(昭和47)年に稼働を開始した福岡工場が順調であったことから、福岡地区での工場施設の増強のために建設候補地を検討していたところ、建設候補地として最適な場所と考えていた箱崎埠頭に倉庫用地として5,040㎡所有していた東部物産貿易株式会社から工場建設の協力要請があった。  
箱崎埠頭は福岡市が分譲した場所で、分譲後10年間は未利用分譲地所有者が関連企業以外への転売を禁止していたため、1977(昭和52)年9月に資本金1千万円で東部横冷株式会社(出資比率東部物産貿易50%、横浜冷凍50%)を設立し、新会社が土地を譲り受けた形で工場を建設・運営することにし、1978(昭和53)年6月東部横冷として冷蔵倉庫が完成した。  
1984(昭和59)年10年の転売制約期間が過ぎ、当社100%完全子会社となった。さらに平成3年東部横冷株式会社を吸収合併し、箱崎物流センターとして現在に至ることとなる。  
1982(昭和57)年に初めての大坂進出となった大坂工場は丸紅冷蔵株式会社から買収したものが、元々は東部物産貿易が建設し

た冷蔵倉庫で、当時東部物産貿易は「スターレーン」の名で全国にポーリング場を展開する傍ら、冷蔵倉庫や水産加工場の運営、海老の輸入や国内の水産加工品の輸出を行っていた。  
気仙沼工場で製造していたカレイやシイラのフィレーは、東部物産貿易を通じて海外へ輸出をするなど、当社と東部物産貿易とは様々な場面で協力関係にあった。



写真提供: 福岡市港湾空港局



ンクリート現場打設築造板造で主架構と切り離しその間に断熱層を設備した外防熱工法としています。  
これは当時多く採用された外壁既成版仕様に対抗した築造仕様ですが、壁築造版と防湿防熱施工難度が高く品質保持が大変難しい工法だったため、箱崎工場以降この工法は採用していません。

### column 荷捌室

福岡工場は産地型の色合いが強く、西日本地域の水産物の水揚げが好調で常に凍結設備が満庫であったのに対し、箱崎工場(当時東部横冷)は輸入チキンやすり身などの荷物主体の典型的な港湾型冷蔵倉庫であった。現在営業を行っている当社冷蔵倉庫では、中川工場[1977(昭和52)年完成]に次いで古く、完成から40年

を超える今もアチコチ改修しながら営業を続けているが、やはり随所に古さが見えるのは否めない。  
完成当時の低床式開放型から、改修工事でドッグシェルターを設置したが、高床式にするためには地面を広範囲に掘下げる必要があるためあきらめた。



上層階の荷捌室の換気扇 よく見ると壁に亀裂が・・・